



基本理念

1. お年寄りに対する尊敬の気持ち

お年寄りは長年にわたり社会の推進に寄与してきた人生の大先輩であります。私達は自立自助で支える環境を作り、生き甲斐のある生活が送れるように努めなければなりません。

2. やりがいのある職場作り

職員全員が和を重んじ、お互いの意見を尊重しあい、意識の高揚を図らなければなりません。そして、自分の仕事に誇りを持ち、将来「自分や家族が入りたいと思えるような明るい病院、施設作り」を私達の手で作りに上げて行かなければなりません。

3. 地域社会への貢献

私達は社会の一員として、活躍できる努力を惜しまず、社会の変化を柔軟に受け止めとめなければなりません。さらに地域を意識し、外部環境の知恵を活用し、現場から生まれる情報に耳目を集中させて地域活動及び地域老人の健康維持増進に生涯奉仕しなければなりません。

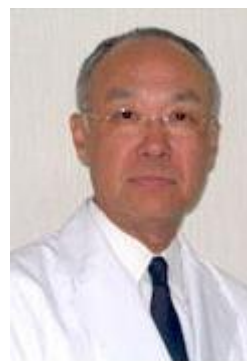
【目次】

| | | |
|----|----|--------------------------------------|
| 1 | …… | 理事長あいさつ |
| 3 | …… | 福角病院 院長あいさつ |
| 4 | …… | 回復期リハビリテーション病棟から |
| 5 | …… | 『私たち、うさぎ年です』 |
| 6 | …… | リハビリテーション科から 『良い姿勢を保つために』 |
| 7 | …… | 栄養調理科から 『管理栄養士ってどんなことをしているか知っていますか？』 |
| 8 | …… | 老人保健施設 福角の里のご紹介 |
| 9 | …… | 地域包括支援センター北条 |
| 10 | …… | 小規模多機能型居宅介護 |
| 11 | …… | 求人情報、編集後記 |



広報誌の改定にあたり

理事長挨拶



新年あけましておめでとうございます。

2023年(令和5年)の年頭にあたり、理事長として一言ご挨拶申し上げます。

2023年は福角病院が開設されて40周年を迎えます。1983年(昭和58年)4月1日、病床数100床の特例許可老人病院として初代理事長の田中孝男先生が開設されました。

その後1985年(昭和60年)に医療法人慈孝会が設立され、1990年(平成2年)老人保健施設福角の里を開設いたしました。1998年(平成10年)には社会福祉法人安寿会が設立され、翌1999年特別養護老人ホーム安寿荘を開設しています。その後、和気、福角、河野、難波の地にグループホーム、小規模多機能施設、デイサービスなどを開設し、2014年(平成26年)北条粟井の地に高齢者総合福祉施設あわい(特養、グループホーム、小規模多機能センター、認知デイサービス)及び老健福角の里サテライト粟井(20床)を新築して開設。2015年(平成27年)には、福角病院と老健福角の里を建替え、福角病院は、回復期リハビリテーション病棟57床、療養型病棟57床、合計114床、老健福角の里は療養ベッド80床で、現在に至っています。

そして、今年には現在の安寿荘の隣接地に建設中である新しい安寿荘が3月31日にはオープンし、新しい建物に特養安寿荘はじめグループホームあんじゅ、デイサービス安寿荘などを集約する予定です。現在の安寿荘の跡地はリハビリ公園として、利用者の散歩、各種行事に活用すべく芝生を植えて、快適な空間にする予定です。



『カーサポルト北条の海 イメージ写真』

また、医療法人慈孝会は北条磯河内の旧国道沿いにサービス付き高齢者向け住宅「カーサポルト北条の海」を今年10月にオープン予定で、現在遅れを取り戻すべく建築中です。愛媛県内ではこれまで見られなかった豪華な設備を準備いたします。

美味しい食事の提供のために、現在堀江で和食料理店を営業されていらっしゃる『遊食晴』の山口さんにご協力頂きます。高齢者にとって生きがいの一つである食を重要視し、北条の海(斎灘いつきなだ)を一望に日々の食事をしていただけるように最高階の5階に展望レストランを計画、同じく5階の隣には、リハビリ・筋トレのためのジム、さらに浴室・露天風呂を設置し、アクティブシニアのための施設を目指しています。

経済的な余裕があってもなくても、歳を重ね、あるいは独りで生活することはいろいろな意味で不安を抱えた毎日を送ることになります。「カーサポルト北条の海」はいわゆる「施設に入所する」というイメージを払拭するような快適でなおかつ生活を楽しめる住居を計画しています。食事の心配なく、また全室床暖房完備で、全室にトイレ、浴室、コンパクトキッチンが設備されており、各居室は30㎡以上の広さがあり、全室から斎灘、中島が望めます。平日は、福角病院と無料の送迎バスで結びます。一階には、理美容室も準備しており、予約すれば近所の理容師さんが散髪に来てくれます。

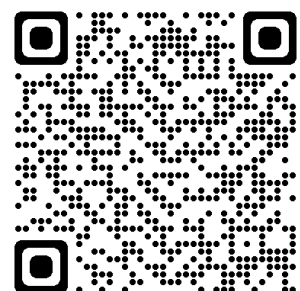
さて、この三年間、新型コロナウイルスに日本中、世界中が振り回されてきましたが、当医療法人慈孝会および社会福祉法人安寿会のほとんどのスタッフ（99%）、そして、入院入所の利用者さんのほとんどが5回目までのワクチンを終了しています。法人として対処すべきことはすべて実行してきていると考えております。残念ながら昨年8月には病院はじめ老健、グループホーム、小規模多機能施設などで、クラスターが発生してしまいました。全体として、そのための損害は5000万円を超える大きなものでしたが、クラスターへの対応で学び得たことも多く、また、ちょうどその頃から福角病院でも使用できるようになったコロナ治療薬ベルクリーやラゲブリオのおかげで施設内で治療することができ、コロナによる患者さんの死亡を防ぐことができたことは大きな経験と自信になったものと考えています。2022年末も子どもさんから感染してしまった職員も多数います。すれすれの所で法人内での流行を防いでいるのも感染対策を理解して頂いている職員各位、利用者さんのご家族のおかげと感謝しているところです。しかし、感染してしまった職員、濃厚接触となった職員の自宅待機などにより、元気に勤務する職員には大きな負担がかかっていることも事実です。医療や介護が崩壊しないように、職員全員が、今後も油断なく、医療・高齢者福祉に携わる者としての自覚をもって、日々の感染対策を怠ることなく、日常を過ごしていただきたいと考えています。

医療法人慈孝会、社会福祉法人安寿会二つの法人で現在約600人の職員が働いています。この10年間に、表紙にあります三つの基本理念の道から外れた職員を10名以上、処分せざるを得ませんでした。利用者さん、ご家族の皆様にお詫び申し上げるとともに、今後さらなる接遇の向上をもって、ご期待に沿ってまいりたいと存じます。

梶原 真人



サービス付き高齢者向け住宅「カーサポルト北条の海」は2023年10月の開所に向けて準備を進めています。詳しい情報はホームページをご覧ください。



病院長挨拶



脳卒中後、大腿骨骨折後、肺炎後筋力低下などの回復期リハビリ患者さんの入院生活は自宅へ復帰するために厳しい訓練の毎日です。

とはいっても理学療法士・作業療法士・言語聴覚士たちが365日患者さんを支え、おしゃべりしながら楽しくリハビリできるように患者さんに寄り添った訓練に励んでいます。

リハビリスタッフは20代30代の若いスタッフも多く、ベテラン脳神経内科医・脳神経外科医の指導のもと、家庭復帰・自立を目標に日々笑いの絶えないリハビリを続けています。



そんな厳しいリハビリの合間の楽しみのひとつに3度の食事があります。当院の食事は患者さんと職員が同じ食事となっています。わたしが福角病院で働くようになって6年が経ちますが、食事はずいぶんおいしくなったと思います。ちらしずし、ラーメン、うどんが2週に1度程度あり、おいしくいただいています。でもカレーはまだまだ。今後に期待しています。

誤嚥しないように、自宅へ退院後もできるだけ家族と同じ食事がとれるように言語聴覚士が口腔内を清潔に保ち、スムーズな嚥下ができるように指導しています。

食事と同様に患者さんが自宅に帰るにあたり、本人はもちろんご家族が気になるのはトイレの自立です。尿意や便意を感じてからトイレへの移動、便座への移乗、下衣の着脱、排尿や排便、後始末を行うまでの一連の動作を自分1人でできるように、理学療法士が筋力をつけ、作業療法士が具体的な動作を訓練します。ところが最大の問題はそれ以前にあります。リハビリ患者さんでもっとも困るのは意欲のない患者さんです。勉強嫌いの子供さんに「勉強しなさい」と言っても無駄なように、やる気のない患者さんに「リハビリがんばれ」と言ってもやってくれるわけがありません。



やる気を起こさせるコツはその人をよく知ることから始まります。看護師や介護士さんが毎日、患者さんの話す内容に心を止め、患者さんの悩みを知り、「患者さんの普段の生活はどのようなものか、どんな仕事に携わっているのか、携わっていたのか、趣味は何か、生きがいは何なのか」などについてよく話し合っただけで知ることだと思いません。

担当医としては病気だけではなく、その患者さんをできる限り丸ごと把握することで信頼関係がよりいっそう築かれ、リハビリ意欲へと繋がると信じています。

角南典生（脳神経外科）

回復期リハビリテーション病棟からのメッセージ

愛媛県下では、新型コロナウイルス感染症が依然として猛威をふるっています。感染症から患者さんを守るため、感染状況によっては面会回数の制限や、ガラス越し面会など、大変心苦しいのですが制限措置を取っております。

私達看護職は、ご家族のご不安やご心配を少しでも軽減できればと、面会時に患者さんの日常の様子をお伝えしております。ご家族に会えた患者さんがとても嬉しそうな表情をされお話されている様子を見ると私たちもとても嬉しく心が癒されます。

患者さんが、地域でその人らしく生活できるように、日常生活の改善に向け多職種と協働したチーム医療を実践しています。その中のひとつとして食事の援助では、医師、栄養士、リハビリ（言語聴覚士）等と話し合いながら摂食嚥下機能に合わせた食事内容の検討や低栄養の改善などに努めています。

私たち看護・介護職は、患者さんやご家族を尊重し誠実な対応を心がけ、看護理念である患者さんやご家族が「福角病院で看護を受けてよかった」と思えるあたたかな配慮のある看護を提供していきたいと思えます。



病棟師長 山田希望

【福角病院 外来のご案内】

【診療科目】 ◇内科 ◇外科 ◇脳神経内科 ◇消化器外科 ◇脳神経外科
◇形成外科 ◇リハビリテーション科 ◇放射線科

外来担当表

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|----------|-------------------------------|-------------------------------|---------------|-------------------------------|-----------------------|---------------------------|
| | 内科 | 内科 | 内科 | 内科 | 内科 | 第1土曜日 のみ |
| 診察室 A | 角南 (脳神経外科) (リハビリテーション科) | 角南 (脳神経外科) (リハビリテーション科) | 奥田 (脳神経内科) | 角南 (脳神経外科) (リハビリテーション科) | 奥田 (脳神経内科) | 梶原 (内科) |
| 診察室 B | 大森 (外科) (消化器外科) | 小林 (形成外科) (手の外科) | 玉本 (内科) | 小林 (形成外科) (手の外科) | 大森 (外科) (消化器外科) | 第2土曜日 ～ 第5土曜日 休診 |
| | 午後往診 | | 午後往診 | | | |

診察時間 午前8時30分～11時30分 13時～16時30分

新規の患者さんは、できるだけ午前中にお越しください。

定期受診の患者さんは、予約制ですので次回受診日を外来看護師と相談してお帰りください。

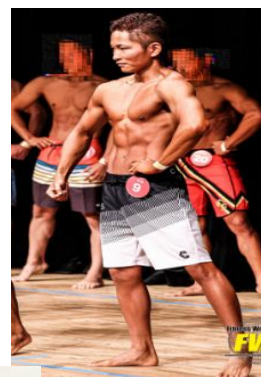
『私たち、うさぎ年です』

「ぴよん、ぴよん」跳ねる
飛躍の年にしたいです!!



福角病院 理学療法士 山本 晃 (ヒカ) さん

ボディビル『フィジーク部門』の大会に出場することが目標です。リハビリに入る時、一回でも患者さんに笑顔を見せていただけるよう頑張っています。



福角病院 事務局 重松 佐知子さん

家族がみんな元気で一年を過ごせることが何よりの願いです。外来の窓口担当なので患者さんが気持ち良く受診できるように努めます。



福角の里 6階東雲ユニットリーダー 野本 昌宏さん

皆さん、初めまして。現在コロナ禍であり、まだまだ不便な生活を強いられて気持ちも落ち込み気味ですが、🐰年にちなんで気持ちを前向きに「ピョンピョン」と飛躍できる年になれたらと願っています。皆様もコロナに負けず頑張っていきましょう。



グループホームふくずみ 高橋 幸子さん

公私ともに何事も兎(う)まく行く一年にしていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



グループホームあんじゅ 野田 淳子さん

今年がうさぎ年、年女そして私還暦を迎えます。自分が還暦を迎えることになるなんて！と少しびっくりです。ぴよんぴよんと跳ねることも、歳相応にして身体に気をつけて今年も頑張ります。



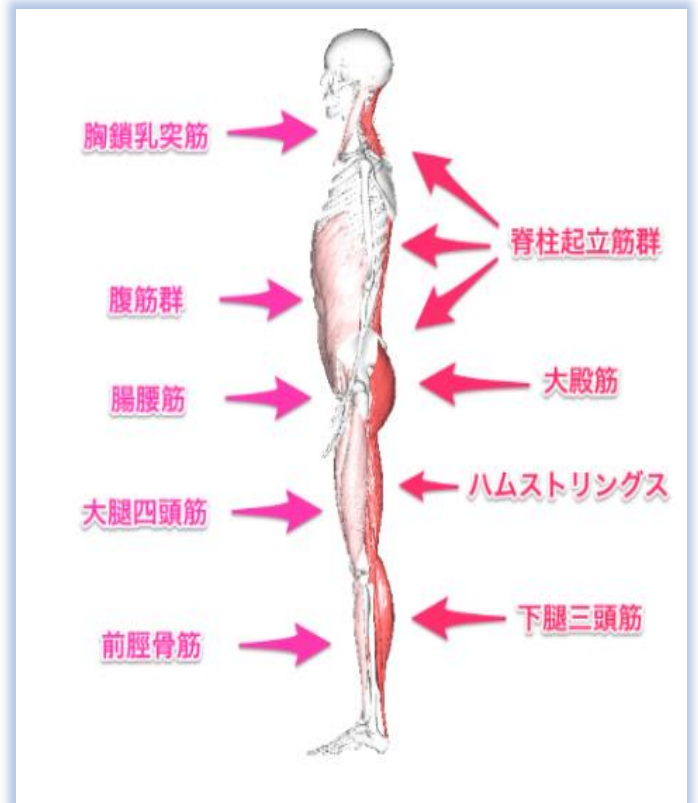
リハビリテーション科からのメッセージ

『良い姿勢を保つために』

2本の足で活動する人間の身体は、抗重力筋を始めとするたくさんの筋肉の働きによって支えられています。代表的な抗重力筋を右図にお示しております。

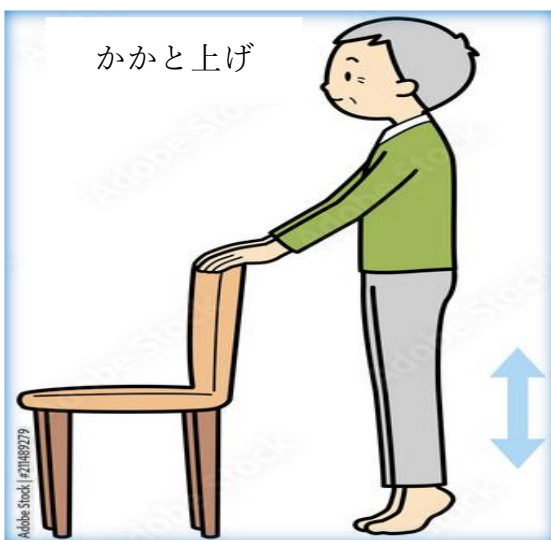
抗重力筋は寝ている以外の日常生活で常に働いているため、生活をするうえで非常に重要な筋肉です。

加齢とともに筋力は徐々に低下していくと言われており、特に60歳以降は1年につき1%ずつ筋量が減少し、その影響を特に受けやすいのが抗重力筋と言われています。



抗重力筋の中でも特に弱化を防いでいきたい筋肉は ①背中：脊柱起立筋、②腹筋：腹直筋、腸腰筋、③お尻：大殿筋、④太もも：大腿四頭筋、⑤ふくらはぎ：下腿三頭筋です。

これらの筋肉が弱化すると、姿勢が変化し、バランス能力の低下、柔軟性の低下、持久性の低下が起こり転びやすくなります。



これらを防止していく1番の方法は、「正しい姿勢を意識する」ことです。正しい姿勢を意識することで抗重力筋を鍛えることができ、それが結果的に転倒予防に繋がっていきます。

さらに正しい姿勢を意識しながらの適度な運動は、血流量をアップさせ、脳への刺激になることで、認知症の予防効果も期待できます。

科長：門屋佳代

栄養調理科からのメッセージ

はじめまして！管理栄養士です。

『管理栄養士の仕事って、ご存じですか？』

管理栄養士は、食や栄養の専門的な知識を持ち、人々に栄養指導などを行って健康に生きていくためのサポートや、病気の人にも接し、一人ひとりの体質や健康状態に応じた各種サポートをしています。

「栄養」は、食べて生命を維持する活動そのものです。

グループ内には、4名の管理栄養士がそれぞれに常駐しており、皆さんの食事と深く関わっています。



私たち管理栄養士は、美味しい食事を提供するために、

① 手作り

委託給食ではなく、当院のスタッフによる手作りの食事作り

② 味

残さず食べていただけるよう、味にこだわった食事作り

③ 食材

地元業者から食材を仕入れ、国産にこだわった材料を使った食事作り

上記3点にこだわって、献立作りをし、「美味しい」と言われる食事の提供を目指して日々努力しています。

福角病院と福角の里では、お誕生日を迎えられた方にはお誕生日祝いの松花堂弁当を提供しています。

『ある日のお誕生日祝い』

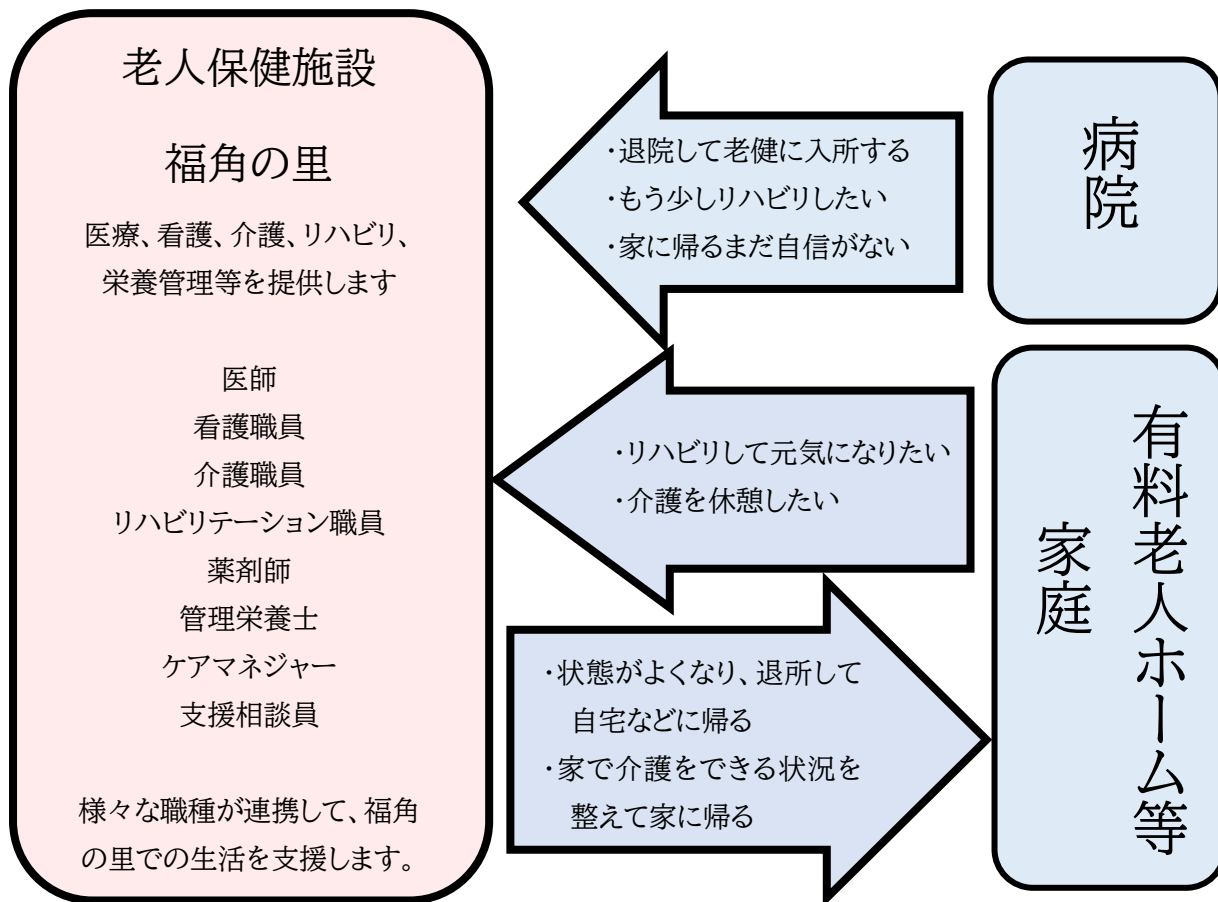


「栄養」をしっかり摂るために、どのような点に注意が必要なのか？
身体の健康を保つためには、どのような食事をすればいいのか？
そして、簡単に作れるおすすめレシピなど、管理栄養士が提案します。
皆さんに、美味しいと言って頂ける食事を目指し、日々頑張っています。

管理栄養士 須山妙美

老人保健施設 福角の里のご紹介

老人保健施設の役割は、医療、看護、介護からリハビリテーション、栄養管理などのサービスを提供して、高齢者の方など利用者様ご本人、ご家族が安心した在宅生活を続けられるように支援する介護保険で利用できる施設です。長期入所、短期入所の利用ができます。



リハビリをして元気に家庭で生活したい方、自宅での生活に不安がある方、ぜひご相談ください。
在宅生活に向けて頑張りましょう！！
ご利用の希望がある方、興味のある方は気軽にお問い合わせください。

老人保健施設 福角の里 089-978-5258

～ 利用者さん インタビュー ～

福角の里 5階 つばきユニット 西山清信様

『こんにちは。今年は何年。春になれば、のようにピョンピョン跳ねて、雪の溶けた小田町に帰るので頑張ってリハビリしています。皆さんも目標をもって頑張りましょう！！』



松山市地域包括支援センター北条

どこに相談してよいか分からない心配ごとや悩みなどは、まず地域包括支援センターにご相談ください。

介護に関すること以外にも、健康や医療、認知症に関するだけでなく、その家族の、近隣に暮らす人の高齢者に関する相談もお受けします。相談を受けた地域包括支援センターは適切な機関などにつなぎ、連携してみなさんを支援します。

「主任介護支援専門員」



「保健師」



「社会福祉士」



主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などが中心となり、お互いに専門分野を生かし「チーム」として活動しています。

みなさんの生活をネットワークで総合的に支えます



認知症サポーター養成講座

松山市地域包括支援センター北条では、みなさんの学校や職場、地域の集まりに出向いて認知症についての出前講座を実施しています。無料でお伺いしますので、当センターまでお気軽にお問合せください。

寸劇で認知症の方への対応を学ぼう！
(浅海小学校3・4年生)



認知症予防ゲームやオカリナ演奏も織り交ぜて…
(聖カタリナ大学2回生)

チームオレンジの活動ご存知ですか？

チームオレンジとは？

…ステップアップ講座を受講した認知症サポーターが支援チームを作り、地域で暮らす認知症の人やその家族の生活面のニーズに応じた支援を行う取組みです。認知症の人やその家族もチームのメンバーとなり認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを考えていきます。

活動内容

…趣味活動、外出支援、話相手などチームメンバー全員が楽しみながら活動し、ひきこもりがちな生活を未然に防ぐことが出来るよう工夫します。

みなさんの地域でもチームオレンジを立ち上げませんか。

感染対策の為、別教室からオンライン講座！
(北条北中学校3年生)



小規模多機能型居宅介護

ご自宅での生活を続けていくために、「通い」(デイサービス)を中心に「泊まり」(ショートステイ)、「訪問」(ホームヘルプ)のすべてのサービスが一つの事業所、同じスタッフによって受けられます。

これら3つのサービスを利用者様一人ひとりに応じて、柔軟に適切に組み合わせることにより、介護が必要になっても、住み慣れた地域で、安心して在宅生活が続けられるようお手伝いさせていただきます。

小規模多機能の家こうの



96歳卯年の歳男です!! こうのへは通いと泊まりを利用しながら安心して生活しています。これからも朗らかに皆さんと仲良く過ごします。



小規模多機能施設ふくずみ

足湯したら気持ち良いわい。
食事は美味しいし、ここの生活は快適よ〜

小規模多機能センター和気

脳トレやゲーム、食事楽しみがいっぱいの和気で過ごさせてもらい幸せです。私の姿を見て、娘たちがとても喜んでます。



小規模多機能センターあわい

◇小規模を利用して良かった点は?

馴染みのスタッフが毎日訪問してくれるので安心できます。

ちょっと困った事があっても、気兼ねなくお願いできるので心強いです。

◇スタッフに一言お願いします。

今後も自宅で頑張りたいので、力になって下さい。頼りにしています。

小規模多機能センター難波

難波は食事が美味しくて!いつも平らげて、恥ずかしいです。自宅ではふくめん(宇和島郷土料理)や魚の煮つけをよく食べていました。



慈孝会・安寿会求人情報

| 職種 | 雇用形態 | 募集人数 |
|--------------|---------|------|
| 看護職員（看護師） | 常勤・正職員 | 3 |
| 作業療法士 | 常勤・正職員 | 1 |
| 管理栄養士 | 常勤・正職員 | 1 |
| 登録ヘルパー（2級以上） | 非常勤・パート | 2 |
| 夜勤専門スタッフ | 非常勤・パート | 11 |
| 調理員（調理師） | 嘱託 | 1 |
| 調理員 | 非常勤・パート | 6 |



【編集後記】

令和5年、法人の機関紙が生まれかわります。機関誌は『きらめき』と命名致しました。

機関紙発刊担当である私達は、法人をご利用頂く皆様とご家族様、地域の方々に法人内外の“きらりと光る”魅力を発信し、受け取った皆様方を笑顔にすることが一番の願いです。

どうか末永くご愛読頂けますようお願い申し上げます。

セキュリティ宣言

～個人情報保護について～

慈孝会・安寿会では、個人情報取扱規程に基づき、個人情報の保護と適正な利用を図り、真心のこもったサービスのご提供を心がけています。

